

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年02月12日

計画の名称	災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備													
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	滋賀県													
計画の目標	- ICや鉄道駅といった主要拠点を結ぶアクセス道路の整備により、交通渋滞を緩和し、円滑な道路交通を確保する。 - 緊急輸送道路を整備することで災害に強い道路ネットワークを構築し、安全・安心な道路交通を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		15,620	A	15,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R7末
1	アクセス道路の整備により、交通量を分散させ、渋滞箇所の交通量を減少させる。 国道306号の原町交差点～外町交差点の日平均交通量	204百台/日	百台/日	159百台/日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
※計画名称「災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備」の計画期間を5年から6年に1年延伸（平成31年度～令和6年度）。目標期間も1年延伸。目標値は変更なし。																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	滋賀県	直接	滋賀県	S街路	改築	（都）原松原線	バイパス L=1.70km	彦根市	■	■	■	■	■	15,620		－	
												小計						15,620		
											合計							15,620		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	1,665	826	1,815	2,050	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	△191	
交付額 (c=a+b)	1,665	826	1,815	1,859	
前年度からの繰越額 (d)	299	1,379	839	608	
支払済額 (e)	584	1,366	2,046	1,217	
翌年度繰越額 (f)	1,380	839	608	1,250	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	304	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	12.32	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由				工事段階における施工協議の調整難航のため	

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月16日

計画の名称	災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備												
計画の期間	令和06年度 ～ 令和07年度（2年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	滋賀県												
計画の目標	・ICや鉄道駅といった主要拠点を結ぶアクセス道路の整備により、交通渋滞を緩和し、円滑な道路交通を確保する。 ・緊急輸送道路を整備することで災害に強い道路ネットワークを構築し、安全・安心な道路交通を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	15,895	A	15,895	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R7末
1	アクセス道路の整備により、交通量を分散させ、渋滞箇所の交通量を減少させる。 国道306号の原町交差点～外町交差点の日平均交通量	204百万台/日	百万台/日	159百万台/日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
※計画名称「災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備」の計画期間を6年から7年に1年延伸（平成31年度～令和7年度）。目標期間も1年延伸。目標値は変更なし。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	滋賀県	直接	滋賀県	S街路	改築	（都）原松原線	バイパス L=1.70km	彦根市	■	■				15,895		－
											小計						15,895		
											合計						15,895		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②計画の目標が「活力創出基盤整備」「街路事業」として適切なものとなっている。	○
I. 目標の妥当性	
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
④地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性	
②継続的な事業の展開が見込まれる。	○